

岩高短歌

くワタシタチノウタく

月間優秀賞作品 R6⑤

発行者
岩出山高校
国語科

〔九月〕黄色・氷・空・制服

月間賞

下ばかり見ていた僕も気がついた真つ赤な空と止まらぬ時間

第二席

帰り道2人で歩く夕暮れに話す隣で色づく景色

第三席

伸ばす手にひらひら落ちて眠る葉と白い季節を夢見て待とう

手を出せば届くばかりの星空が天に広がる里の秋かな

秋の空登校するたび香るのは黄色で彩る金木犀

優良賞

過ぎていく空は晴れたり曇ったり夜が明ければ笑顔見せたり

制服が揺れる九月の秋風でいつになってもまだまだ暑い

空赤く秋の訪れ近くなる秋の夕暮れ綺麗な夕日

帰り道ふと気づいたら違う空こちらを見つめる茜色達

煌々と空で誇る満月は宝珠のように輝いていた

空に舞う黄色に染まる木の葉たちふわりと香る秋風にゆられ

ふと気づく色づき変わる風景は混ぜ合わせたらパレットのよう

あの頃は長く残った雲さえも今ではすぐに過ぎ去り消える